

交流及び共同学習～居住地校交流～

本校では、子どもたちが居住する地域の一員として、充実した生活を送るため、同年代の友達と一緒に学習する中で、お互いを知り、地域とのつながりや経験を広げる学習の機会として、居住地校交流を実施しています。今年度も、充実した時間を過ごすことができました。

【小学部の児童の様子】

小学部では、12人の児童が居住する学区の小学校で交流を行いました。みんなの前で自己紹介をして好きなものなどを知ってもらい、相手校の友達と一緒に音楽やボッチャ、工作、かけっこなどの運動を行いました。

昨年度も交流した児童が多く、相手校の友達が本校の児童の名前を覚え、久しぶりに会えることを楽しみにしている様子もみられました。

交流後には、作った作品を見せてくれたり、何をしたのか話をしてくれたり、有意義な時間を過ごすことができました。



手拍子でリズム打ち

クリスマスリース作り



ビー玉を転がして
友達と遊びました。



持久走



柔道



給食



理科

【中学部の生徒の様子】

今年度は4人の生徒が交流しました。中学部に入って初めて居住地校交流を行った中1の生徒は、こども園時代の友達と久々に会うことができ、笑顔溢れる時間を過ごせました。昨年度から引き続き交流を行った中2、中3の生徒は、以前の交流で仲良くなった生徒に会い、温かく迎え入れられ安心して過ごす様子が見られました。

英語や理科、体育の柔道など、普段行わない授業が多く、1限が50分間と普段よりも長い時間でしたが、集中して各教科の学習に取り組むことができました。交流した生徒たちの「また来年も行きたい」「楽しかった」と前向きな振り返りをする姿がすてきでした。